

経済学部A方式I日程・社会学部A方式I日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～15	日 本 史	16～29
世 界 史	30～44	地 理	46～55
数 学	56～57		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. **数学**は以下の注意事項に従うこと。
 - ・ 解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
 - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・ 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・ 定規，コンパス，電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆，ボールペン，シャープペンシルなどを使用しないこと)。

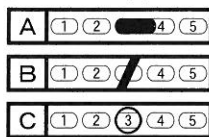
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(日 本 史)

〔 I 〕 以下の問 1～問 6 に答えよ。

(A)

- ① 縄文時代になると、 が広場を円形などに取り囲むようにして、集落がつくられることが多くなったが、そうした集落遺跡の代表例としては 遺跡がある。
- ② 弥生時代には、環濠集落と呼ばれる集落が多く出現するようになるが、その代表例としては、現在の 県の吉野ヶ里遺跡や、奈良県の 遺跡がある。
- ③ 弥生時代中期から後期にかけて、 を中心に、高地性集落と呼ばれる集落が出現するようになる。

問 1 文中にある空欄 ～ に以下の語群から最も適当な語を一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| ア 福岡 | イ 三ツ寺 I | ウ 東日本 | エ 竪穴住居 |
| オ 静岡 | カ 大塚 | キ 岩宿 | ク 高床住居 |
| ケ 西日本 | コ 奈良 | サ 平地住居 | シ 横穴住居 |
| ス 三内丸山 | セ 佐賀 | ソ 北日本 | タ 唐古・鍵 |

問2 下線部(a)「環濠集落」と(b)「高地性集落」について記したア～エの記述のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。全て正しい場合には、オをマークせよ。

ア 環濠集落の源流は中国などにあるとされ、稲作とともに渡ってきたと考えられている。

イ 高地性集落が生まれた背景には、その地域に激しい抗争があったと考えられている。

ウ 環濠集落には、防衛上の目的はなかったといわれている。

エ 代表的な高地性集落の例としては、紫雲出山遺跡がある。

(B)

① 律令制のもとでは、 などの 種類の賤民と呼ばれる身分がつくり出され、良民との婚姻も禁じられた。

② 平城京には東市、西市の2つの官設の市があった。市は の監督のもとに、正午から日没まで開かれ、各地から税として運ばれた品々などが取引された。

③ 世紀につくられ、農民の暮らしについて歌われた「貧窮問答歌」では、 の厳しい税の取り立ての姿が描かれている。
(a)

問3 文中にある空欄 ～ に以下の語群から最も適当な語を一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 国司	イ 品部	ウ 衛士	エ 官戸
オ 里長	カ 郡司	キ 百姓	ク 検非違使
ケ 穢多	コ 市司	サ 5	シ 6
ス 7	セ 8	ソ 9	

問4 下線部(a)「厳しい税の取り立て」に関連し、この時期の税制について記したア～エの記述のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。全て正しい場合には、オをマークせよ。

- ア 田地にかかる租税は租といわれ、おもに郡家などの正倉で貯蔵された。
イ 都での歳役か、あるいはその代替として調を朝廷におさめることも課された。
ウ 諸国の産物を朝廷におさめる税も課され、繊維製品か数十の地方特産品に品物が限定された。
エ 国司の命令によって課される雑徭とよばれる労役の負担もあった。

(C)

- ① 初期の荘園の多くが衰退し 世紀になる頃には、 と呼ばれる有力農民の中から、配下の農民らを使って田地開発を盛んに行い、中には武装して、勢力拡大につとめるものも現れてきた。
(a)
② 荘園の開発が進むようになると、開発領主から寄進を受けた と呼ばれる荘園領主と の間の対立は次第に深まっていった。
③ 荘園で国家の干渉を受けずに土地や農民を支配できるようになると、かつての のなかには、 と呼ばれる、年貢や公事のとりまとめを行うものも現れた。

問5 文中にある空欄 ～ に以下の語群から最も適当な語を一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|------|-------|------|------|
| ア 国司 | イ 名主 | ウ 田堵 | エ 棟梁 |
| オ 所従 | カ 御家人 | キ 領家 | ク 侍 |
| ケ 11 | コ 12 | サ 13 | |

問6 下線部(a)「武装して、勢力拡大につとめるもの」について記したア～エの記述のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。全て正しい場合には、オをマークせよ。

ア 彼らは一族の者である家子や、郎党と呼ばれる従者を率いて、時に国司にも反抗した。

イ 彼らの抗争を鎮圧するために、政府は押領使、検田使などを任じたが、その中には現地に残り、武士となる者もあった。

ウ 彼らの一部はやがて大きな武士団に成長していくが、中でも東国は良馬を産したため、その成長が著しかった。

エ 武士団の成長過程で起きた東西の争乱に、平将門の乱や藤原純友の乱などがある。

〔Ⅱ〕江戸時代には、鎖国政策がとられていたが、長崎、対馬、薩摩、松前という四つの窓口(四口)を通した異国・異民族との交流が行われていた。これに関して次のA～Dの問いに答えよ。

A 次の①～④は、寛永期に出された鎖国令である。これを読み、下記の問いに答えよ。

①

一、南蛮人子孫残し置かず、詳ニ堅く申し付くべき事。若し違背せしめ、残し置く族これ有るニおいてハ、其者ハ死罪、一類の者ハ科の軽重ニより申し付くべき事。

②

一、異国え日本の船これを遣すの儀、堅く停止の事。

一、日本人異国え遣し申す間敷候。若し忍び候て乗渡る者これ有るにおいてハ、其者ハ死罪、其船船主共ニ留置き、言上仕るべき事。

③

一、異国え奉書船の外、舟遣わし候儀、堅く停止の事。

一、奉書船の外ニ、日本人異国え遣し申す間敷候。

若し忍び候て乗まいり候ものこれ有るにおいてハ、其ものハ死罪、其船并に船主共ニ留置き、言上仕るべきの事。

④

一、日本国御制禁なされ候切支丹宗門の儀、其趣を存じながら、彼の宗を弘むるの者、今ニ密々差渡るの事。

一、宗門の族、徒党を結び邪儀を企つれば則ち御誅罰の事。

一、伴天連同宗旨のかくれ居る所え、彼国よりつけ届物送りあたふる事。

右茲に因りて、自今以後、^(a)かれうた渡海の儀停止せられおわんぬ。此上若し差渡るニおいてハ、其船を破却し、并に乗来る者は速かに斬に処せらるべきの旨、仰せ出さるる所也。

問1 ①から④の鎖国令を古い順に並べ替えたとき、正しい順番はどれか。正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。全て誤っている場合には、オをマークせよ。

ア ② — ③ — ① — ④

イ ② — ④ — ③ — ①

ウ ③ — ② — ① — ④

エ ④ — ② — ① — ③

問2 下線部(a)の「かれうた」とはどこの国の船のことか。最も適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。全て誤っている場合には、オをマークせよ。

ア ポルトガル イ オランダ ウ イギリス エ スペイン

問3 ①～④の鎖国令が出された背景として、最も適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 身分制に基づく年貢の取り立てに苦しむ農民層が、キリスト教が伝える天賦人権思想に感化されることによって、平等な権利を主張することを怖れた。

イ 九州を中心に広がったキリスト教徒による神社仏閣の破壊を止め、国教である神道を守ろうとした。

ウ 西国大名が貿易を通して利益をあげるのを抑え、幕府による貿易利益の独占を目指した。

エ ロシア船やイギリス船が日本近海に姿を現すようになり、防衛のために、外国との交流の窓口を一本化する必要があった。

オ 自由な貿易によって海外から大量の銀が流入し、国内の貨幣の価値が急激に下落することを防ごうとした。

B 江戸時代の日本と朝鮮の関係について、下記の問いに答えよ。

問1 1609年に、文禄・慶長の役以降関係が途切れていた朝鮮との講和が実現した。このとき、朝鮮との間で己酉約条を結んだ対馬藩藩主は次のうちだれか。最も適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 島津氏 イ 大友氏 ウ 蠣崎氏
エ 宗氏 オ 尚氏

問2 己酉約条以降の日本と朝鮮の関係として最も適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。全て誤っている場合は、オをマークせよ。

- ア 平壤に倭館が設置され、貿易の舞台になった。
イ 対馬藩は、対朝鮮貿易を一手に独占する特権的な地位を、日本と朝鮮両国によって認められた。
ウ 毎年幕府から使節が朝鮮に送られ、国家の賓客として丁重に扱われた。
エ 実質的に国交は断交状態で、日本海では小規模な武力衝突が繰り返された。

C 江戸時代の琉球に関する次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

琉球王国には、長い間日本の統一政権の力が及んでこなかったが、1609年、薩摩藩は軍事的侵入を敢行した。そのうえで検地・刀狩を行って (1) を進め、琉球国王の (2) を沖縄ならびに周辺諸島8万9086石の王位につかせた。

一方で、中国も琉球に接近し、1655年には、(3) を派遣するという動きを見せたが、江戸幕府は黙認した。さらに1663年には、中国の康熙帝は (2) を「琉球国王 (4) 」に任じたが、^(a) 辮髪などの強要は行わなかった。琉球は以後、薩摩藩と中国の間で二重の外交体制を保つことになり、鹿児島と福建には琉球館がおかれた。幕府にも琉球からの使節が派遣され、(5) の将軍就任以降代わりごとに (6) が、また琉球国王の即位ごとに (7) が送られた。

問1 文中の (1) ~ (7) に最も適切な語句を、以下のア~テから一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| ア 地下請 | イ 兵農分離 | ウ 徳政 | エ 慶賀使 |
| オ 通信使 | カ 冊封使 | キ 謝恩使 | ク 北山王 |
| ケ 中山王 | コ 南山王 | サ 島津氏 | シ 大友氏 |
| ス 蠣崎氏 | セ 宗氏 | ソ 尚氏 | タ 家康 |
| チ 家光 | ツ 光圀 | テ 慶喜 | |

問2 下線部(a)の中国の王朝は次のうちどれか。最も適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| ア 宋 | イ 元 | ウ 明 | エ 清 |
|-----|-----|-----|-----|

D 蝦夷地におけるアイヌと和人との関係について、下記の問いに答えよ。

問1 17世紀前半のアイヌ社会と松前藩との交易に関する記述として、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。全て正しい場合は、オをマークせよ。

ア アイヌ社会は主に河川流域で農耕中心の生産活動を行い、その産物で松前藩と交易していた。

イ 松前藩は、徳川家康によって、船役徴収権およびアイヌとの交易独占権を保障された。

ウ 松前氏は、家臣にアイヌとの交易権を知行として与え、それを通じて主従関係を結んだ。

エ アイヌ社会は、松前藩だけでなく、中国大陸の山丹地方の少数民族とも交易を行っていた。

問2 1669年に松前藩と対立し戦いを起こしたアイヌの首長はだれか。正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。全て誤っている場合は、オをマークせよ。

ア シャクシャイン

イ コシャマイン

ウ アテルイ

エ オゴタイ

問3 問2の出来事の帰結として、最も適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。全て誤っている場合は、オをマークせよ。

ア 松前藩をはじめとする和人との関係は断絶し、アイヌはロシアとの関係を深めていった。

イ アイヌは自立した交易ができなくなり、和人商人に利用される請負となっていった。

ウ アイヌは松前藩に対し、蝦夷地における漁場の管理と交易における自立権を認めさせた。

エ アイヌは、松前藩との対立を深める一方、中国によって蝦夷地一帯の王であることを認められた。

〔Ⅲ〕 次の文章A、Bを読み、下記の問いに答えよ。

A 明治新政府は、財源の安定確保をめざして土地制度と税制の改革を行った。1872年に を廃止し、従来の年貢負担者である地主・自作農へ を発行し、それによって を認めた。1873年には地租改正条例を発して、地租改正に着手し、1881年までにほぼ完了した。

1881年に大蔵卿に就任した松方正義がおこなった増税・緊縮財政とデフレ政策の下で、多くの自作農が土地を手放し、小作農へ転換した。地主は、小作農に所有地を貸し付けて 小作料を取得しつつ、貸金業などを営んで、土地を集中 していった。

日清戦争後、鉄道や紡績業の企業勃興が生じたが、農業は零細経営中心で発展は鈍かった。大地主は、自らは耕作から離れて小作料収入に依存する 化しつつ、小作料をもとに公債や株式に投資するなど、しだいに資本主義との結びつきを深めた。一方、小作農は、子女を工場に出稼ぎに出すなどして家計をおぎなっていた。

問1 文中の空欄 ～ に最も適した語句を、それぞれ、下記のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| (1) ア 公地公民制 | イ 上知令 | ウ 田畑永代売買の禁令 |
| エ 秩禄奉還の法 | オ 棄捐令 | |
| (2) ア 金禄公債 | イ 兌換券 | ウ 太政官札 |
| エ 地券 | オ 秩禄 | |
| (3) ア 入会権 | イ 家督相続権 | ウ 戸主権 |
| エ 選挙権 | オ 土地所有権 | |
| (4) ア 華族 | イ 寄生地主 | ウ 新興財閥 |
| エ 独立自営農民 | オ 農業資本家 | |

問2 下線部(a)に関連し、この時期に自作農が土地を手放した理由として正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて誤っている場合には、オを選び、マークせよ。

- ア 1870年代末以降上昇してきた米価がさらに上昇したから。
- イ 米価が下落したのに、地租は定額だったから。
- ウ 地租増徴案が成立し、地租率が引き上げられたから。
- エ 緊縮財政による余剰金で国が土地を買い上げたから。

問3 下線部(b)と(c)に関連し、この時期の、地主への土地集中の度合いを示す小作地率と、地主が小作農に課した小作料の記述として正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて誤っている場合には、オを選び、マークせよ。

- ア 小作料は低額の金納であり、小作地率は10%を越えた。
- イ 小作料は高率の現物納であり、小作地率は30%を越えた。
- ウ 小作料は高額の金納であり、小作地率は50%を越えた。
- エ 小作料は低率の現物納であり、小作地率は70%を越えた。

問4 下線部(d)の日清戦争後、この当時の社会のひずみを実態調査をもとに明らかにしたルポルタージュとして正しいものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて誤っている場合には、オを選び、マークせよ。

- ア 河上肇『貧乏物語』
- イ 徳永直『太陽のない街』
- ウ 柳田国男『遠野物語』
- エ 横山源之助『日本之下層社会』

問5 下線部(e)に関連し、明治時代末に東北地方の大地主の家に生まれた太宰治の作品を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて誤っている場合には、オを選び、マークせよ。

- ア 『細雪』
- イ 『斜陽』
- ウ 『真空地帯』
- エ 『俘虜記』

問6 下線部(f)に関連し、小作農一家の貧しさを克明に描いた『土』の著者である長塚節について、正しいものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて誤っている場合には、オを選び、マークせよ。

- ア 田中正造からの依頼をもとに、『谷中村滅亡史』を書いた。
- イ 大逆事件を背景に、『時代閉塞の現状』を書いた。
- ウ 『スバル』系詩人として活躍し、『田園の憂鬱』を書いた。
- エ 師の正岡子規没後、伊藤左千夫らと『アララギ』を創刊した。

B 第一次世界大戦は日本に空前の大戦景気をもたらし、明治末期からの不況と財政危機を一気に解消したが、第一次世界大戦が終わると日本経済は一転して不況に見舞われ、農村においては小作争議が頻発した。1922年には杉山元治郎・賀川豊彦らによって各地の小作人組合(g)の全国的組織である [(1)] が結成された。

1918年の [(2)] を契機に、政府は、朝鮮、 [(3)] での植民地産米増殖を推進し、大正末から昭和初期にかけて植民地米の移入が急増した。その影響をうけ米価は低迷した。

世界恐慌の波及と浜口雄幸内閣による1930年1月の [(4)] がまねいた [(5)] によって、米をはじめ農産物価格は暴落した。1930年は「豊作貧乏」となり、翌年には一転して東北・北海道が大凶作に見舞われた。東北地方を中心に農村の困窮は著しく、欠食児童や女子の身売りが続出した。

(h) こうしたもとので、ロンドン海軍軍縮条約の調印をめぐる [(6)] や満州事変をきっかけとして、日本の行きづまりの原因が支配層の無能と腐敗にあると考え、軍中心の新たな国家体制をつくろうという動きが急速に活発(i)になった。

問7 空欄 (1) ~ (6) に最も適した語句を、下記のア～ナから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| ア 帝国農会 | イ 日本農民組合 | ウ 農業協同組合 |
| エ 労働農民党 | オ 友愛会 | カ 関東大震災 |
| キ 金輸出解禁 | ク 米騒動 | ケ 昭和恐慌 |
| コ 震災恐慌 | サ 天皇機関説問題 | シ 統帥権干犯問題 |
| ス 特需景気 | セ 虎の門事件 | ソ 取り付け騒ぎ |
| タ 二個師団増設問題 | チ モラトリアム | ツ 旧ドイツ領南洋諸島 |
| テ 台湾 | ト 南京国民政府 | ナ 満州国 |

問8 下線部(g)の小作争議に関連し、正しいものを下記のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 政府は戊申詔書を発布し、地主と小作人の融和をはかった。
- イ 政府は保安条例を制定し、小作人組合の活動を制限した。
- ウ 1921年に小作争議の件数及び参加人員は急増した。
- エ 1930年代初頭には小作争議は衰退し、ほとんど発生しなくなった。
- オ 小作争議は、労資協調主義からしだいに階級闘争主義に転換した。

問9 下線部(h)の農村の困窮に対応して政府がとった対策として、正しいものを下記のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 時局匡救事業を行い、農地を小作人に優先的に安く売り渡した。
- イ 重要産業統制法を制定し、農業における不況カルテル結成を容認した。
- ウ 地方改良運動を推進し、旧村落の財産を新町村に吸収した。
- エ 農山漁村経済更生運動によって農民を結束させ、「自立更生」をはからせた。
- オ 農業基本法を制定し、農業生産の選択的拡大や合理化と近代化をはかった。

問10 下線部(i)の動きに関連し、1930年代前半におきたこととして正しいものを下記のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 関東軍は『東亜新秩序声明』を発表し、政治に関与する姿勢を示した。

イ 陸軍内部の皇道派は、青年将校を中心に、元老・重臣や財閥と協同して天皇親政をめざした。

ウ 海軍出身者が首相となり、軍部、貴族院、官僚、政党出身の閣僚からなる挙国一致内閣が発足し、政党内閣は終焉した。

エ 国家改造方針を論じた北一輝の著書『国体の本義』は、中堅幕僚将校らに大きな影響を与えた。

オ 農本主義者、国家主義者、陸海軍軍人などによる人民戦線運動が活発になった。